

# 最新海外医学情報 PICK UP NEWS



最新情報やお得な情報を配信中!

## ビタミンCの推奨摂取量の基準が変わる?

WHOによるビタミンCの1日当たり推奨摂取量は、長年の間45mgとされてきました。これは、壊血病を防ぐために必要なビタミンCの量を調査した1940年代イギリスの研究結果を基に設定されてきました。しかし、新しい統計手法やツールを使用してこの研究を再分析した新しい報告では、実際に壊血病予防に必要なビタミンCの量は95mgであると断定されました。また、同研究では、ビタミンCが欠乏している人が正常な怪我の回復機能を得るためには、90mgを6か月摂取しても十分でなく、考えられていたよりも長期・高用量でのビタミンC補給が必要であることが分かりました。この結果は、世界中でビタミンCの重要性が再確認されるきっかけになる可能性があります。



Philippe P Hujoel, Margaux L A Hujoel. Vitamin C and scar strength: analysis of a historical trial and implications for collagen-related pathologies. *The American Journal of Clinical Nutrition*, 2021; DOI: 10.1093/ajcn/nqab262

## ビタミンCは制御性T細胞を安定させる: 自己免疫疾患などへの影響も

制御性T細胞 (Treg) は、体内の炎症や自己免疫を制御する重要な役割を持ち、人工的な抗原特異的Treg (iTreg) を自己免疫疾患などの治療に活用する手法が研究されています。しかしiTregを安定的に誘導するための適切な成分は見つかっていませんでした。

今年7月に発表された米国の大学と免疫研究所による研究で、ビタミンCがその役割を果たすことが明らかにされました。ビタミンCは、Tregの遺伝子発現や機能的な特徴の維持に必要なTET酵素の活性を高め、安定したiTregの生成を促すことが分かりました。また、Tregの正常な発育・機能に必要なIL-2/STAT5シグナル伝達においても、ビタミンCが各構成要素の働きを助け、iTregの安定的な生存に寄与すると報告されています。

Yue, X., et al. Whole-genome analysis of TET dioxygenase function in regulatory T cells. *EMBO Reports*, 2021; DOI: 10.15252/embr.202152716.

## 歯茎の出血はビタミンC不足の現れ

歯茎から出血している場合、その原因は主に歯周病であると言われています。しかし、2021年2月にワシントン大学から発表された研究は、出血の原因の一つとして、ビタミンCの欠乏を検討すべきと指摘しています。1,140人を対象とした6か国15件の臨床試験および米国疾病対策予防センター (CDC) の健康栄養調査対象者8,210人のデータを分析した結果、血中VC濃度が低いことで歯肉が出血しやすくなり、日々のビタミンC摂取量を増やすことで出血が改善されることが分かりました。また、網膜の出血においても同様でした。

歯茎の出血とビタミンCの関連性は、実は30年以上前から特定されていましたが、近年はその関連性が注目されることが減り、根本的な治療よりも歯磨きやフロスで症状を改善することに重点が置かれてきました。しかし、歯肉出血とビタミンC欠乏の関連性を見逃していると、全身の健康に深刻な影響を及ぼす可能性がある、と著者は指摘しています。

Philippe P Hujoel, Tomotaka Kato, et al. Bleeding tendency and ascorbic acid requirements: systematic review and meta-analysis of clinical trials. *Nutrition Reviews*, 2021; DOI: 10.1093/nutrit/nuaa115

## 新たな検証: 居住地の紫外線B量とビタミンDレベルがコロナ重症化に関連

ビタミンDの感染や重症化予防効果は、度々話題にのびますが、D欠乏と関連する肥満・高齢化・慢性疾患などの影響を臨床試験において完全に除外することが難しく、直接的な因果関係は立証されてきませんでした。英国の約50万人を対象とした今回の研究では、遺伝的に予測されるDレベルに加え、COVID-19感染前の居住地におけるUVBの量から予測したDレベルが評価されました。



結果、UVB量とCOVID-19による入院・死亡率との間には、遺伝的予測の3倍強い逆相関が発見されました。これは、ビタミンDがCOVID-19による重症化や死亡を防ぐ可能性を示唆しています。研究者は「COVID-19とビタミンD補給について、適切な無作為化比較試験を実施することが重要。ビタミンDのサプリメントが安全で安価であることから、特に冬に向けて、ビタミンDの欠乏を防ぐためにサプリメントを摂取すべき」と述べています。

Li, X., van Geffen, J., van Weele, M. et al. An observational and Mendelian randomisation study on vitamin D and COVID-19 risk in UK Biobank. *Sci Rep*, 2021; DOI: 10.1038/s41598-021-97679-5

会報誌の内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。

【発行元】点滴療法研究会 【発行月】2021.11

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-23-13 アルカイビル4F / Tel: 03-6277-3318 / E-mail: info@iv-therapy.jp

# NEW AGE MEDICINE



2021  
Autumn  
11  
vol.3

Japanese College of Intravenous Therapy



点滴療法研究会

INTERVIEW

## 水上 治先生 癌の超早期診断と 超早期治療 -CTCからIVCへという挑戦-

河合 隆志先生 症例報告

椎間板ヘルニアへのオゾン療法 症例

鈴木 つば美先生 症例報告

犬の糖尿病 症例  
インスリン注射をしない(できない)という選択をし、  
栄養素サプリメントで存命中

田中 善先生 論文紹介

「栄養とがんのリスク:腸内細菌叢の観点から」と題するレビュー論文

森永 宏喜先生 コラム

COVID-19の重症化と血清亜鉛 ~集積する国内データ、さらなる周知を~

会員クリニックのご紹介vol.3

東京がんセンタークリニック

# 癌の超早期診断と 超早期治療

## - CTC から IVC へという挑戦 -

### 癌が増えている

コロナ禍による癌検診受診控えが世界的に起こり、米国でも頸癌検診やマンモグラム検診が一時例年の8割減、日本でも去年の癌検診全体で3割減、大腸癌ステージ3の患者が7割増、癌病棟が混みだしたなど、マイナスの情報が増えてきました。私の予想では来年癌医療において確実にリバウンドが起きます。

長年癌医療に携ってきましたが、痛切に感じるのは、進行癌状態で見つかる人が圧倒的に多いことです。言うまでもなく、早期に見つかれば見つかるほど、治療は本人にも楽ですし、治療成績もどんどん良くなります。しかしながら、言うまでもなく、癌の早期診断法にはまだまだ改善の余地があります。

### 癌検診の限界

筆者は長年癌検診に携っていましたが、限界は明らかです。X線、超音波、CT、MRI、PET-CTによる画像診断では、おそらくせいぜい7mmか10mm程度の腫瘍しか写りません。内視鏡検診も全国津々浦々とはいきません。ステージ1でも、5年生存率は100ではありません。もしも1-2mm程度の超早期癌で見つけることができれば、患者にとっては極めて楽に完治を目指せるはずですし、治療率も限りなく100に近づきましょう。



### CTC の長所

皆様の多くは CTC すなわち循環腫瘍細胞検査をすでに実践しておられるか、導入を考慮なさっていると思います。点滴療法研究会推薦の CTC 検査は、ギリシャの RGCC 社/パソティリオ先生の



方法です。筆者はすでに10年以上この検査を使っておりますが、臨床的に満足できる精度を持ち、癌の超早期診断の有力な武器になると感じております。20mlの採血で(写真:採血セット)、結果は3週間後で日本語で来ます。

皆様にまずお勧めする検査は、オンコカウントです。癌幹細胞に極限まで近い細胞の血液1ml(癌によっては5mlなど違う)中の個数を表します。もちろん正常値はゼロ個/mlです。値段は10万円程度で可能です。癌細胞が100万個程度で約1mmの塊になりますので、大体1-2mm程度で細胞の奥の細胞に栄養や酸素を提供するため、腫瘍血管新生が起こります。この際に腫瘍細胞がもっと太い血管に漏れてしまう現象を、CTC検査として補足する狙いです。

早期癌には腫瘍マーカーが役立たないのには明らかです。ご承知のように、進行癌でも上昇しないことはまれではありません。CTCは腫瘍マーカーよりもより正確に癌細胞数に比例することが多くの研究で立証されていますので、臨床経過を追うには最適です。

### 癌細胞そのものの検査は CTC のみ

超早期癌の発見には、有力候補として、血中マイクロRNAを測定することがもうじき臨床に登場しますし、他にも似た研究があります。循環腫瘍DNA、循環遊離DNA、循環遊離RNA、細胞外小胞などです。しかし、CTCは癌細胞そのものを見ているのに対し、他の検査は癌細胞の言わば分泌物の測定ですから、臨床経過を追う場合は、CTC以上の優れたものではありませんし、今後とも出て来ないでしょう。

しかも、オンコカウントは限りなく癌幹細胞に近い

細胞です。現時点では幹細胞の概念は完全に定説化していませんが、私は癌幹細胞は存在すると考えています。癌臨床の多くの謎を解くことができるからです。しかも0.1個/ml単位の定量法ですので、3か月から6か月ごとに測定すれば、現状の癌治療が効果的かどうか、腫瘍マーカーと比べても、相当正確に判定できます。これには極めて精緻な技術が必須です。私はRGCC社の技術を信頼しています。大きな理由は、筆者がギリシアの本社を訪ねて、最新機器を使って丁寧にCTCを測定していることが確認できたこと、パソティリオ先生がこの方面の権威であることが明らかであることです。

RGCC社にはオンコトレースやオンコノミクスプラスなど、癌関連遺伝子、また化学療法感受性検査やビタミンCなど天然成分の癌細胞に対する感受性検査など、より詳細な情報が得られる検査がありますが、より高額でもあり、CTC導入がまだの先生達には、まずはオンコカウントからのスタートでいいと思います。最新癌検診として、あるいは癌標準治療後の残遺癌細胞の状況検査法としても、極めて有力な武器となります。

### 超早期癌は標準治療の非適応⇒IVCへ

もしCTCカウントで何個か出た場合は、高い確率でPET-CTなどの画像診断では写りませんし、内視鏡検査でもおそらくわからないので、標準治療のやりようがありません。経過観察になりますが、これは癌放置と同じことです。患者さんは大いに不安でしょう。

そこで登場するのがIVCです。いわば天然の抗癌剤ですから、絶対的適応です。潜在癌であっても、あるいは潜在癌の方が、IVCの実力をいかんなく発揮しやすいと言えます。抗癌剤は固形癌には弱いですが、白血病などの細胞レベルの癌には強いことが分かっています。癌の固まりが小さいほど抗癌剤としてのIVCが効果的なのは、臨床経験上間違いありません。

何年前になります、CTCで5個以下/mlが判明し、癌専門病院で精密検査を受けたがどこにも腫瘍が見つからず、話し合いの後IVCを継続し、ついにゼロになった方がいます。ちなみに筆者は定期的

水上 治 (みずかみ おさむ)  
健康増進クリニック 院長

【略歴】 弘前大学医学部卒業、東京医科歯科大学医学博士、米国ロンドン公衆衛生大学院公衆衛生学博士。都内内科勤務医を経て、健康増進クリニック開業。健康増進があらゆる疾病克服の鍵とする医療を展開中。一般財団法人国際健康医療研究所理事長。国際オーソモレキュラー医学会名誉殿堂入り。日本オーソモレキュラー医学会理事。点滴療法研究会ボードメンバー。国際個別化医療学会理事。「超高濃度ビタミンC点滴療法」「日本一わかりやすいがんの教科書」(PHP)、「日本人に合ったがん医療を求めて」(ケイオス出版)など著書多数。

にオンコカウントを受け、ゼロが続いているので、1mm以上の癌はないのではと多少安心してはいます。もちろん癌検診は行っていますが、今のところ引っかかってはいません。

### ご自分やご家族の CTC と IVC

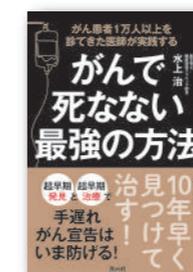
私はまず先生ご自身のオンコカウント検査をお勧めします。健康あつての診療ですから、ゼロを確認なさってください。もし少し出たら、IVCの登場です。ゼロになるまでなさってください。先生方の体験談は患者さんに極めて説得力を持ちます。

IVCは癌予防にも力を発揮します。実際アンチエイジング目的で25gを月1-2回IVCを受けている人は、長年当院に通院していて、発癌ほぼゼロです。1-2年さぼっていた人の癌診断はたまにあります、皆さんきちんとIVCを受けていればよかったですとおっしゃいます。

### 超早期診断から超早期治療へ

超早期診断と超早期治療のために、CTCとIVCを活用する、もうそういう時代に突入しています。癌専門医でなくても、IVCを施行している先生なら、目の前の患者さんにCTCを推奨し、オンコカウントが数個出たら、まずは専門医を紹介し、精査で癌が発見できなかったら、貴院でCTCを測りながらIVCでフォローアップすれば、多くの患者さんに感謝されるはずですよ。

筆者はこの度「がんで死なない最強の方法」(青月社)を出版しました。CTCとIVCの組合せを書いた初めての本です。先生達と力を合わせて、癌超早期発見から超早期治療への大きな流れを創っていきませんか。



### お得な情報

#### ●書籍情報

『がんで死なない最強の方法』  
著者：水上治  
発行：青月社  
仕様：四六判・並製 / 224ページ  
定価：1650円(税込)

「会報誌を見た!」と言っていただければ割引適用いたします。(定価から20%割引、5冊以上なら送料・代引き手数料無料) ご注文は(株)青月社までご連絡ください。  
電話：03-5833-8622  
メール：info@seigetusha.co.jp

# 医師が選んだ乳酸菌サプリ

乳酸菌生成エキス

アルベックス【医療機関専用】

- ▶ 100年の歴史から生まれた高品質サプリ
- ▶ 国内 GMP 認定自社工場にて製造
- ▶ 乳成分・糖類・添加物不使用・100%植物性



「自分の乳酸菌」を育て  
体内をケアする  
ドクターサプリメント

品名 アルベックス  
原材料 乳酸菌生成エキス(大豆を含む、国内製造)/クエン酸、乳酸  
内容量 10ml×30包 (賞味期限2年)  
希望小売価格 8,000円(税抜)/卸売参考価格 4,800円(税抜)

**無料 30日分プレゼント!**  
先着50名の医師限定 点滴療法研究会会員様で初めて資料請求される医師・歯科医師の方

お申込みは下記ご記入の上、FAX 又はメールか ▲ FAX:03-3288-0116 ▲ (メディカルグループ宛) 右記 QR コードよりお申込みください。

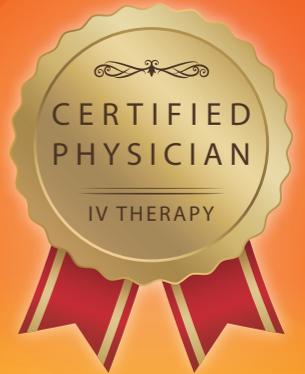
貴院名	ご担当
ご住所 〒	
TEL	FAX
E-mail	
備考 何かご希望などございましたらご記入下さい。	<input type="checkbox"/> 連絡希望 / <input type="checkbox"/> 面談希望(現地・WEB) / <input type="checkbox"/> 勉強会希望

QRコードから資料請求

必要事項をご入力の上、「お問合せ欄」に『点滴療法研究会』『ご希望の製品名』をご記入ください。また、その他ご希望の方はその旨もご入力ください。後日担当者よりご連絡いたします。

【お問合せ欄記入例】  
点滴療法研究会  
アルベックスサンプル希望  
連絡希望

<https://bandscorp-medical.jp>



# 高濃度ビタミンC点滴療法 認定医制度

## 認定医制度とは

点滴療法研究会では、国民に安心して高濃度ビタミンC点滴を受けていただくため、正しい知識を持った会員医師に認定医資格を設けています。現在、約 500 名の方が認定医資格を取得しております。  
(2021年10月現在)



認定証を発行。  
安心して患者様に  
選ばれる医院に



当会が質を保証する認定証を発行。自院にてご紹介いただけます。

※額縁は別売です。

クリニック検索で  
上位表示されるから  
集患効果アップ

当会のホームページにおけるクリニック検索でご紹介。検索時に優先的に表示されます。

## 受験案内 (年1回開催)

2021年 12月 5日(日)

- 会場：東京
  - 申し込み期限：2021年12月1日(水)
- お申し込みはこちらから▶



## 受講資格

- マスターズクラブ会員であること
- ベーシックセミナーⅠの受講
- ベーシックセミナーⅡの受講
- 高濃度ビタミンC点滴療法認定医講習会の受講

※注意 マスターズクラブを退会すると認定医資格はなくなります。

他にも2種類の認定医制度をご用意しています。

キレーション療法 認定医

2022年 2月 20日(日) 予定

オゾン療法 認定医

2022年 5月 22日(日) 予定

# 点滴・栄養療法症例報告

## 椎間板ヘルニア へのオゾン療法の 症例



フェリシティークリニック名古屋 院長  
**河合 隆志** 先生

### 【略歴】

- '97 慶應義塾大学理工学部卒業
- '99 同大学院修士課程修了
- '06 東京医科大学医学部卒業
- '06 三楽病院臨床研修医
- '08 三楽病院整形外科他勤務
- '12 東京医科歯科大学大学院博士課程修了
- '13 愛知医科大学学際的痛みセンター勤務
- '15 米国ペインマネジメント&アンチエイジングセンター他研修
- '16 フェリシティークリニック名古屋院長

著書に「見るだけでしつこい痛みがすーっと消えるすごい写真」(アスコム)、「腰痛がラクになる『酵素たっぷり呼吸法』」(笠倉出版社)などがある。

オゾン療法は、ヨーロッパのガイドライン「オゾン療法に関するマドリッド宣言」にて、脊椎疾患をはじめとする整形外科疾患にレベルAの適応があります。ただし日本での適応はありませんので、当院では自費診療にて提供しています。症例を供覧いたします。

### 症例 61歳 女性 腰椎椎間板ヘルニア

主訴は右下肢の痛み・しびれ、殿部痛です。

1年半前、朝起きたら右下肢の痛み・しびれを感じ、その後殿部痛も出現。徐々に増悪し、一時期は動けないほどになってしまいました。近医にて腰椎椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症を指摘され、リリカは効果なく、 ترامセツトは嘔気により続けられませんでした。殿部痛は変わらずあるものの、右下肢の痛み・しびれは当初よりは改善し、20分の連続歩行まで可能になりました。しかし元々は毎日10,000歩以上歩いており、早く良くなりたいと考え当院受診されました。

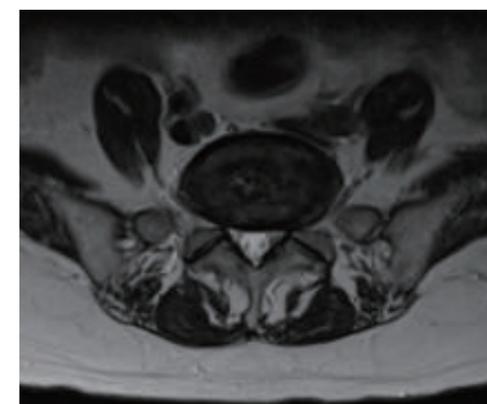
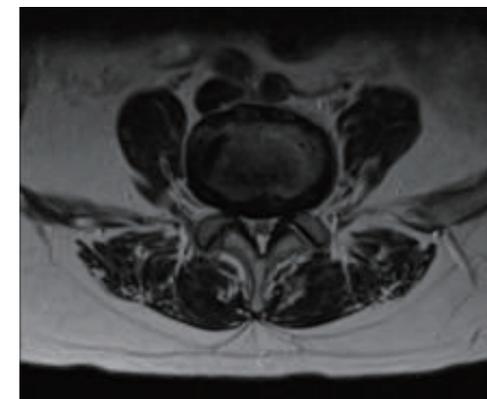
現症として、腰椎の後屈制限、右L5 areaに軽度の触覚低下を認めました。レントゲンにてL4/5/Sに椎間板腔狭小化および変性、腰椎前弯低下を、MRIにてL4/5/Sに正中ヘルニア、軽度の脊柱管狭窄を認め、当院初診時のMRIでは、1年前のものと比較して、ヘルニアの明らかな吸収傾向がみられました。

初診時の評価として、神経根圧迫による神経障害性疼痛(右下肢の痛み)と、椎間板腔狭小化・脊椎変性に伴う侵害受容性疼痛(殿部痛)が混在した状態と考えました。MRI上は改善を認めるにも関わらず、ヘルニア発症から1年半が経過しても連続歩行は制限されており、痛みの慢性化、不活動に伴う疼痛閾値低下も考慮すべきと思われました。

治療として、少しずつ活動量を増やすことを指示、右下肢症状、殿部痛に対し、サインバルタ(SNRI)(20)1C1×朝(下降性疼痛抑制系賦活目的)の内服を開始しました。

初診後3週、症状に著変なく、オゾン療法を試してみたいというご希望がありましたので、大量自家血療法(MAH)(30μg/ml 100ml)、殿部への局所オゾン療法(20μg/ml 20ml)を併用する方針としました。

初診後4週、オゾン療法後1日だけですが、体が非常に楽だったとのことで、2回目のMAH、局所オゾン療法を行い、5週後もMAHを施行しました。



上:L4/5 下:L5/S(当院初診時のMR)

初診後6週、睡眠は以前より良くなってきたが、寝付きが悪いのは変わらないという訴えもあり、サインバルタをレメロン(NaSSa)(15)0.5T1×眠前に変更しました(副作用の眠気を逆に活用するため)。痛みに関しては、全体に改善傾向とのことでした。また、4回目のMAHを施行しました。

初診後8週、右下肢のしびれ・痛みはまだあるが、改善傾向にあり(PRS 4/10)、殿部痛はほぼ消失(PRS 0-1/10)しました。また、睡眠は深くなりましたが、寝つき自体は変わらず良くありませんでした。オゾン療法継続のご希望あり、MAHを行いました。

※PRS:pain relief scale(痛み緩和スケール)治療前の痛みを10として、現在の痛みを数値で示してもらうもの。

初診後9週、右下肢のしびれ・痛みもだいぶ落ち着いてきた(PRS 3/10)、花壇の手入れなど、今までやる気が出なかったことも自然とするようになってきました。6回目のMAHを施行しました。

初診後11か月、久しぶりに来院。初診後5か月位に、右下肢症状も殿部痛もほぼ完治した感じになり、忙しくて来院できなかった、とのことでした(PRS 0-1/10)。長距離の歩行も全く問題なく、「また四国のお遍路めぐりに行きたい」と笑顔で仰いました。

7回目のMAHを行い、終診としました。

オゾン療法は自然治癒力を高める、そしてエビデンスの蓄積がある、副作用のない安全な治療法と言えます。治療抵抗性の整形外科疾患、慢性痛の患者さんに対しても、試みる価値があると考えられます。

## 症例募集

点滴・栄養療法に関する症例を  
随時募集しております。  
詳細は事務局にお問い合わせください。

 [info@iv-therapy.jp](mailto:info@iv-therapy.jp)  
 03-6277-3318

# 点滴・栄養療法症例報告

## 犬の糖尿病症例



みなせ動物病院 院長

鈴木 つば美 先生

【略歴】

1984年 日本大学(旧農獣医学部獣医学科修士課程前期終了)を卒業。

1984年から1994年まで10年間、川崎アニマルメディカルセンター及び茨木動物メディカルセンターで勤務後、みなせ動物病院を開院し、現在に至る。オルタナティブメディスンに興味を持ち、鍼灸・ホメオパシー・点滴療法・栄養療法・理学療法などを、診療に取り入れている。

### インスリン注射をしない(できない)という選択をし、栄養素サプリメントで存命中

犬の糖尿病は、ヒトのⅠ型糖尿病と同様のインスリン依存性の割合が非常に高く、インスリン注射を続けることで、よい健康状態で長期間生きることが可能です。インスリン注射をしないということは、糖尿病の治療をしないということですが、今回インスリン注射をしないという選択をした糖尿病の症例について報告します。

【症例】

ミニチュア ピンシャー 2013年7月7日生まれ/去勢オス  
 【体重】12kg(肥満体型)  
 【家族構成】女性の飼い主1人  
 【飼い主自体糖尿病でインスリン治療を受けている】  
 【既往歴】マラセチア性皮膚炎、外耳炎

【2020年11月中旬来院】

【主訴】3週間前くらいから多飲多尿、食欲は依然旺盛  
 【検査結果】表の1列

糖尿病と診断し、インスリン投与の必要性を説明しましたが、飼い主本人が糖尿病でインスリン注射をしながら、低血糖の危険性を常に持っているということで、インスリン投与でなく他の治療を希望したが、この時は処方しなかった。飼い主がおやつとして、“かりんとう”を与えていたようで、ミニピンとしては、骨格的に大柄で、肥満体型であった。

【2020年12月上旬来院】

【主訴】食欲廃絶、多飲だが尿量が減少、軟便および嘔吐、  
 ということ来院

【検査結果】表の2列

ケトアシドーシス性糖尿病で入院、インスリン注射を開始。1週間入院し、血糖値を250～350の間のレベルのインスリン量に決定。

退院時、飼い主にインスリン注射を指導したが、残念ながら犬の性格がきついつつも何かをしようとして嘔まれているということで、飼い主一人ではエリザベスカラーをつけることも、注射(ペンタイプ)することも不可能ということであった。

### 血液検査結果の推移

	1	2	3	4	5	参考値	単位
WBC	144	138	94	119	140	60~168	×10 <sup>3</sup> /uL
RBC	651	577	567	578	647	550~850	×10 <sup>4</sup> /uL
HGB	15.4	13.8	15.3	13.9	15.8	12~18	g/dl
HCT	45	39.6	40	41.1	46.6	37~55	%
PLT	75.2	53.3	107	95.6	107	17.5~50.0	×10 <sup>4</sup> /uL
TP	8.2	8.7			8	5.0~7.2	g/dl
ALB	3.9	3.5				2.6~4.0	g/dl
ALKP	973	1060		645	180	<89	U/L
ALT	65	81		129	116	17~78	U/L
BUN	19.1	16.5				9.2~29.2	mg/dl
CREA	0.36	0.33				0.4~1.4	mg/dl
GLU	588	>600	585	554	578	75~128	mg/dl
LIPA	356					<160	U/L
CRP	4.7	>7.0		2.2	<0.9	<0.70	mg/dl
COR	1.8			1.6		1.0~6.0	μg/dl
尿検査							
TP	2+	3+		1+	1+		
PH	5	6.0		6	6		
潜血	—	2+		0	0		
ケトン体	1+	4+		1+	1+		
ビリルビン	—	1+		—	—		
ブドウ糖	5+	4+		4+	4+		
比重	>1.040	>1.040		>1.040	>1.040		

そのため今回の症例の場合、血糖値は下げることができないが、栄養素サプリメントで一般状態を維持できるかもしれないと考えました。

▼処方サプリメントはメディカルサプリメントを使用

ビタミンA 2.250 μg 1カプセル QSID  
 ビタミンB群 1カプセル BID  
 ビタミンC (500mg) 1カプセル BID  
 ビタミンE (E効力100IUに相当) 1カプセル BID  
 BCAA (総量)1800mg 1包/DAY

【2021年2月再診】

【主訴】一般状態良好、以前に比べ活発。多飲多尿は変わらず食欲旺盛。白内障が進行してきた。体重は減少し6.5kgになりかなり削り落ちてきた。

【検査結果】表の3列

血糖値は高値のまま変わらず。他は落ち着いてきていた。

【2021年5月・8月再診】

【主訴】2月と同様一般状態良好、食欲旺盛。完全に白内障になったが活発。体重は5.1kg

【検査結果】表の4・5列

上記のサプリメントに加えてファイバーを追加した。

【2021年10月再診】

今までと変わらずの状態を維持。

以上の状態において患犬は削りと白内障以外は、元気で食欲旺盛かつ活発に生活して、発症して1年を迎えようとしています。



糖尿病は、インスリン注射を続け上手に管理できれば相当長く生きられます。人の場合は糖尿病による合併症(腎臓、網膜、血管など)が生じやすいですが、犬の場合は白内障以外の合併症は生じにくいですが、血糖値を完璧にコントロールすることは難しいですが、ある程度コントロールできていれば重篤な合併症なしで生きていくことができます。通常インスリン注射をしないと生存期間は短く3か月くらいといわれています。

イヌでは3歳以上で発症する糖尿病はクッシング症候群(副腎皮質機能亢進症)から進行したものと、非避妊雌の黄体期に発症したものとがあります。この症例ではオスであったので、クッシング症候群を疑ってコルチゾールを測定していますが、その可能性は低いと考えました。単純に飼い主のおやつを選択を間違え、肥満にしたことが原因と考えられます。

この症例では糖尿病用療法食は、使用していません。高タンパク低炭水化物の食餌(グレインフリーのフード)及び缶詰・レトルトを食べています。これだけでは食物繊維が不足しているため、糖の吸収を緩やかにし、血糖値の急激な上昇を防ぐと考えられるファイバーを追加しています。ビタミンのサプリメントは代謝に必要です。

インスリン注射をしないという選択をした症例において、以上の経過を報告しましたが、この状態を飼い主は満足しており、患犬との生活を楽しんでいます。決してインスリン注射をしない選択を勧めるものではないのですが、注射をしない場合の方法として、栄養素サプリメントを利用するもの選択肢の一つである可能性を示していると思います。インスリン注射をしているときも同様のサプリメントを処方することで、さらに状態を安定化されることもできると思います。

# 点滴療法研究会マスターズクラブ 会員サービスのご案内

## 会員サービス一覧

様々な会員サービスをご用意しています。  
ぜひ、ご活用ください。

### 認定医制度

真摯に点滴療法を学び、正しい方法で治療を提供できる会員医師を明確にするため、患者様に質の保証をする認定医制度を設けています。合格者には認定証を発行、ホームページのクリニック検索にて情報公開しています。

- ・高濃度ビタミンC点滴療法認定医
- ・キレーション療法認定医
- ・オゾン療法認定医

### 学習サポート

- ・医学情報の提供
- ・会員専用Q&A
- ・動画学習
- ・セミナー優待
- ・学習コラム配信
- ・他学会連携

国際オゾンモレキュラー医学会  
日本オゾンモレキュラー医学会  
国際個別化医療学会

### クリニック運営サポート

- ・クリニック検索一覧掲載
- ・クリニック詳細ページ制作
- ・集患サポートパック
- ・点滴療法同意書ダウンロード
- ・リンク用バナー配布
- ・オンラインショップ
- ・書籍掲誌
- ・会員証発行

## ご活用ください クリニック詳細ページ 制作受付中!

クリニックの認知を高めよう!

昨年より始まった「クリニック詳細ページ」作成サービス。すでに多くの会員様にご活用いただいております。検索上位表示も可能です。ぜひご活用ください。

### 掲載内容

- 院内写真(1~5枚)
- 医院の特徴
- ドクターインタビュー
- 得意とする点滴療法
- 治療へのこだわり
- 患者様へのメッセージ
- 診療時間案内
- アクセス情報

### 制作・掲載費

45,000円(税込)

詳細ページがあると  
上位検索  
されます

年間検索数  
8万回以上!



さらに! ホームページを新規で作りたい!と考えている先生へ

インターネットからの集患を増やす、  
集患サポートつきホームページ作成!  
**集患サポートパック**

点滴療法導入クリニックの集患に必要な  
要素をオールインワンにしたパックです。  
ご興味のある方は、事務局までご連絡ください。

点滴療法を動画で学ぼう!

## おすすめの 動画はこれ!



動画一覧は  
こちら



会員同士の知識の共有!

## 医学コラムを 募集&配信中!

点滴療法や栄養療法の発展を目的  
に会員の先生方がお持ちの知識や  
ノウハウをご共有頂いています。  
また、寄稿して頂ける先生も随時募  
集しております。

コラム例

- 「Nutrition and Cancer Risk from the Viewpoint of the Intestinal Microbiome」  
医療法人仁善会 田中クリニック理事長 田中 善 先生
- 「新型コロナウイルス対策と当クリニックの新たな取り組みについて」  
真弓愛メディカルクリニック 真弓 愛 先生
- 「自院の取り組みについて」  
グレースメディカルクリニック 伊藤 信久 先生

会員コラムを  
書いていただける方  
募集中!

【応募方法】  
会員サイト内  
「コラム」ページより  
ご応募お待ちしております。



会員サービスは、会員ログインが必要です。

会員ログインは  
こちら▶



登録無料

ログイン後、右下の「メルマガ  
登録」より登録可能!

メールマガジンにご登録ください!

医学情報、講師からのメッセージをはじめ、  
各種キャンペーンやお得な情報をお送り  
しております。お見逃しなく!

## NEW! 院内販促サポート、拡充中!

患者様に点滴療法を知ってもらおう!

院内販促にお役立ていただけるサポートがさらに充実しました。  
提供する点滴療法の種類に合わせて、ぜひご活用ください。

### 患者様向け販促リーフレット

提供メニューに合わせて選べるように  
4種類に拡充いたしました。

- 高濃度ビタミンC点滴療法 (がん治療)
- 高濃度ビタミンC点滴療法 (美容・アンチエイジング)
- マイヤーズカクテル点滴
- 歯科医院における点滴療法

詳細は同梱資料を  
ご覧ください。

NEW  
歯科  
リーフレット



院内用動画  
11月中旬リリース予定!

待合室や施術室のモニターで各種点滴  
療法の魅力を伝える会員限定の動画コン  
テンツを発売します!  
ぜひ、ご期待ください。





## 東京キャンサークリニック 理事長 阿部 博幸先生

### 【略歴】

1964年札幌医科大学卒業。医学博士。クリーブランドクリニックにて臨床フェローを修了。順天堂大学医学部講師、日本大学医学部助教授、スタンフォード大学客員教授、杏林大学医学部客員教授を経て医療法人社団厚生会を設立し、理事長に就任。2002年に米国ガン・コントロール協会から「ガンと免疫療法に使う生薬の研究における成果」に対して表彰を受ける。著書に「生きている。それだけで素晴らしい」(PHP研究所)、『最新の癌免疫細胞療法ーリンパ球療法から樹状細胞がんワクチンまでー』(永井書店)、『個別化医療テキストブック』(翻訳/国際個別化医療学会)『Ovarian Cancer Immunotherapy』(Chapter 9: Heat Shock Protein Vaccine Therapy for Ovarian Cancer, Oxford University Press)他多数。クリニックではがんの遺伝子診断や個々の環境要因を考慮し、多価樹状細胞ワクチン治療を柱にこれを補強するオンコ・ハイパーサーミア、高濃度ビタミンC点滴療法、キレーション療法、オゾン療法、標準治療の長所を組み合わせたがんの個別化医療を行っている。

医学博士/日本臨床内科医会専門医/労働衛生コンサルタント/国際個別化医療学会 理事長/Fellow of American/College of Cardiology (F.A.C.C.)/Fellow of American College of Chest Physicians (F.A.C.C.P.)

### クリニックに導入している点滴療法

- 高濃度ビタミンC点滴療法 (がん治療)
- 高濃度ビタミンC点滴療法 (アンチエイジング)
- キレーション療法 (Ca-EDTA)
- プラセンタ療法
- 血液オゾン療法
- 幹細胞培養上清療法

### クリニックの特徴

病気についての悩みや健康に対する不安な思いなど、さまざまな事情で訪れる患者さまに対して、私たちは患者さまそれぞれのご要望にお応えすべく、再生医療を中心とした治療を提供しています。皆さまの健康長寿を実現するため、特に「がん」「認知症」「疾病予防」「アンチエイジング」のための医療に力を入れています。これらは互いに密接に関係しており、すべての方にとって必要な医療だと考えます。

クリニック内



### 専門分野・得意とする点滴療法を教えてください

循環器内科、総合内科、第2種・第3種の再生医療の研究開発を専門にしています。第2種再生医療では自己脂肪由来間葉系幹細胞を使用した治療を、第3種再生医療では樹状細胞やNK細胞を使用したがんの予防や治療を行っています。点滴療法はニューヨークのサレルノ・センターのDr.ジョン・サレルノのプロトコルを使用しています。キレーション療法は開発者のDr.ゲリー・ゴードンに師事し、ご指導いただきました。幹細胞上清療法やCa-EDTAキレーション、高濃度ビタミンC点滴療法、そして血液オゾン療法などの点滴療法は、患者さまのご希望をよくお伺いし、身体的問題や病状などを診させていただいた上で、治療をご提案させていただいています。

点滴ルーム



### 先生が点滴や治療において心掛けていることを教えてください

1. その患者さんにとって治療効果を最大にすることを期待できる医療のご提供。
2. 患者さんの身になって、ライフステージやライフスタイルを考慮した医療のご提供。

### クリニック運営において力を入れている点を教えてください

当院では well aging と健康長寿を目指し、特にがん、認知症、生活習慣病のための医療に力を入れています。その手段として点滴療法をはじめ、長年にわたり再生医療に取り組んで参りました。現在、再生医療等第3種のがんの免疫療法（特許技術による多価樹状細胞ワクチンとNK細胞療法など）と第2種の脂肪幹細胞を使用した再生医療を中心に提供しています。更なる革新を目指し、関連法令を遵守しながら培養技術などの研究開発に今後も邁進していく所存です。

### マスターズクラブ会員の先生へのメッセージ

ぜひ一度、クリニックにお越しください

会員の先生方とは点滴療法研究会の勉強会などを通して、情報交換など積極的な交流をさせていただければ幸いです。



### 東京キャンサークリニック

- 電話番号 03-6380-8031
- 公式サイト <https://tokyocancerclinic.jp/>
- 責任者 阿部博幸 理事長 札幌医科大学卒業
- 所在地 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-3-2 曙杉館ビル9F
- 診療時間 月～金曜日 8:30～12:00 / 13:00～17:15  
土曜日 8:30～12:30 (第2・第4土曜日は現在、臨時休診)  
※診療は完全予約制 ※祝日は休診

NEW!  
有料オプション

### マスターズクラブ会員/ベーシックセミナー | 受講者 限定 クリニック詳細ページ作成サービス

患者さまが点滴療法を実施している会員クリニックを検索しやすいように、当会ウェブサイトでご紹介。さらに、ドクターインタビューなど、クリニックのイメージが付きやすい詳細ページ作成で、より強力な訴求が可能となりました！ぜひご利用ください。

会員ログイン後  
ご覧いただけます



詳しくは  
WEBサイトを  
ご覧ください▶



# Nutrition and Cancer Risk from the Viewpoint of the Intestinal Microbiome



## 『栄養とがんのリスク： 腸内細菌叢の観点から』

医療法人仁善会 田中クリニック理事長  
**田中善先生**

点滴療法研究会ボードメンバーの田中善先生が栄養医学専門誌「Nutrients」の特集号「栄養と様々ながんのリスク、およびそれらを回避するための戦略」にて、『栄養とがんのリスク：腸内細菌叢の観点から』と題するレビュー論文を発表しました。点滴療法研究会ボードメンバーの喜多村邦弘先生（喜多村クリニック院長）、会員の城谷昌彦先生（ルークス芦屋クリニック院長）、麻植ホルム正之（ライフクリニック蓼科院長）も共著者です。



### 論文要旨 (日本語訳)

がんの発症と進行のリスクを減らすためには様々な重要な要因があります。生体の恒常性を維持し、外部要因として作用している毒性物質を解毒し、体の免疫作用を維持・強化する栄養素を正しく摂取することです。正常細胞環境では炭水化物、脂質、タンパク質、ビタミン、ミネラルなどの栄養素は体内で適切に消化・吸収され、その結果、がんが発症、進行する環境を防ぐことができます。

毒性物質が体内に入ってくるのを防ぎ、体内の毒物を解毒することが必要です。もしこの過程が正しければ、細胞は正常に働き、遺伝子は傷害されません。がんと闘い、がんの発症と進行を予防する最も重要な要因は免疫システムです。これには免疫システムが十分に働くような栄養状態が必要であり、その役割すべてを実行できるのは腸内細菌叢です。腸内細菌叢を育てるために、有機野菜、果物、食物繊維のようなプレバイオティクス、発酵食品やサプリメントのような効果的な腸内細菌のプロバイオティクスが必要です。

これらの生命体が共同して働くシンバイオシスががんのリスクを減らす有効な方法です。さらに、ウルトラファインパールを使った糞便微生物移植（FMT）は日本の腸内フローラ移植臨床研究会により行われていますが、栄養状態を改善し、がんのリスクを減らすのに役立つ方法です。

かなり厳しい医学雑誌（インパクトファクター6）なので、アクセプトされるとは思いませんでしたが、7月から9月までの2か月間、この歳で徹夜もしながら大変でした。英語論文は医学博士を取得する前に書いたつもりでしたが、英語も図表もすべて一人でやったので、診療の合間に自分自身でよくやれたなと思います。点滴療法研究会の皆さんに、腸内環境の重要性、他の生物との共生が重要であることを論じました。今後さらにこの分野は広がりを見せると思います。今、プラネタリーヘルスということで、医農連携を進める予定です。

会員の皆さまへ  
田中善先生より

出典：  
Tanaka, Y.; Shimizu, S.; Shirotani, M.; Yorozu, K.; Kitamura, K.; Oehorumu, M.; Kawai, Y.; Fukuzawa, Y. Nutrition and Cancer Risk from the Viewpoint of the Intestinal Microbiome. *Nutrients* 2021, 13, 3326. <https://doi.org/10.3390/nu13103326>

論文はコチラ▶



### 医療機関専売サプリメント

Salvestrol®  
PLATINUM2000

無農薬の野菜や果物に含まれる  
健康に欠かせない天然成分



資料請求は  
こちらから



株式会社サルベストロールジャパン  
<https://www.salvestrol.co.jp>

特別インタビュー  
国際オーソモレキュラー-医学会会長  
柳澤 厚生 医師

# がん医療の現場で活躍する サルベストロール

メデイカルサプリメントという新たな選択肢

がんと闘う身体作りに導入  
治療・予防・再発予防にも

がん患者の方には治療と並行して、がんと闘うための基本的な身体を作る食事・栄養指導①副作用のない「サルベストロール」②「高濃度ビタミンC点滴」を中心とした補助治療を行っています。

サルベストロールは、がん細胞に特有のシグナル伝達経路を阻害し、がん細胞の増殖を抑制し、細胞死を促すことも大切な成分です。オーガニック食材に多く含まれる天然成分ですが、現代の食生活ではサルベストロール不足になりがちで、日本でがん患者が増え続ける原因のひとつとも考えられています。サルベストロールは論文も多く存在し、根拠のある「天然の抗がん剤」といわれる成分です。治療はもちろん、前がん病変にも有効なので予防・再発予防にも非常に適しています。

Salvestrolの驚異的な働きについて詳しくは、WEBでご確認ください。

サルベストロール研究会  
salvestrol labo



医療従事者のための医師が選んだ「食」が学べる宅配便

JMOA 一般社団法人  
日本メデイカルオーガニック協会  
Japan Medical Organic Association

## Doctor's Organic Box

石黒医師監修のもと、  
毎月のテーマに沿った【食と健康の情報誌】と、  
厳選したオーガニック&ナチュラルな【食品セット】をお届けします。

月1回  
お届け

食と健康の情報誌

オーソモレキュラー-医学を学ぶ医師なら知っておきたい食の知識を月1回お届けします。

- 知っておきたい食の健康メリット/デメリット
- 医学的根拠に基づいた世界のオーガニック情報
- 論文情報
- 目的・テーマ別のおすすめ食材/簡単レシピ

月2回  
お届け

食品セット

1回配達分で約2~3人分をお届け！

【1回分の例】

- 月のテーマ食材 1~2点 (バター、プロッコロー)
- 野菜 5~6種類 (小松菜、ケール、さつまいも、人参2~3本、まいたけ)
- 果物 2~3種類 (りんご、ぶどう)
- 定番商品 3種類 (納豆×1、ヨーグルト×2、有機ニンジンジュース×6本)
- 手軽に食べれるナッツ、スナック 1~2種類 (くるみ、海そうチップス)

資料請求で「腸内環境改善サポート」冊子のサンプル無料プレゼント中！



資料請求は  
こちら▶



【監修医師】  
アクアメデイカルクリニック  
院長 石黒 伸 先生



コラム  
vol.15

## COVID-19の重症化と血清亜鉛

～集積する国内データ、さらなる周知を～

森永歯科医院 院長 森永 宏喜 先生

昨年3月の国際オーソモレキュラー医学会の提言以来、ワクチンが実用化される以前から私たち会員はCOVID-19に対し栄養で免疫力を高める対応を主張してきました。その中で最も重要な栄養素の一つが亜鉛ですが、これまでCOVID-19の感染や重症化防止との関係のエビデンスについては、おもに海外のデータに頼っていました。しかし国内のデータも発表されてきています。

### 【方法および対象】

昨年3月～5月に堺市立総合医療センターのCOVID-19入院患者62名を対象とし、その内29名の血清亜鉛値を測定、統計的に解析しました。

### 【結果】

交絡性を確認した後の重症化因子は実年齢、HbA1c値、LDH値、血清亜鉛値に集約できました。ロジスティック回帰分析で、血清亜鉛を測定した29名ではLDH値(445IU/L以上)との併用で正判率89.7%、AUC 0.942のROC曲線で重症化を予測でき、実年齢(65歳以上)とLDH値を用いた患者全体群の結果を顕著に上回りました。

### 【考察・結論】

今回のCOVID-19入院患者は重症化例の86%が低亜鉛血症(70μg/dL未満)を示し、重症化因子となることが示唆されました。その一方で、入院後に適切な経腸栄養を施せば10日程度で低亜鉛血症は解消出来ることも示され、安全な医療体制の整備と維持に貢献する可能性があるといえます。この事実が治療現場の医療関係者はもちろん、一般にも広く周知されることを目指し、行動してまいります。

		重症度		
		重症	軽/中等症	合計
検査結果	Zn <70μg/dL	6	3	9
	Zn ≥70μg/dL	1	19	20
合計		7	22	29

詳しくは、日本亜鉛栄養治療研究会「亜鉛栄養治療」第11巻第2号をご覧ください

### 他にも 医学情報コラムを



過去コラムはこちらからご覧ください。  
※会員ログインが必要です。

### Check 森永先生ご講演 オススメセミナー

こちらからお申し込みください。



当会国際ボードメンバー、トーマス E. レヴィ先生をお迎えして特別セミナーを開催！医科・歯科・獣医科問わず多くの先生方にご参加お待ちしております。

## 今すぐ取り入れたい！

## 医院のファンに 院内販促術



点滴療法は自費ということもあり、患者に苦勞しているという声も聞かれます。WEBや新聞などによる外部への告知も大切ですが、既存の患者様に訴求できる「院内販促」も、とても有効かつ効率的な手法です。自分の通っている医院の施術メニューをすべて把握できている患者様は、まず存在しません。また、患者様が「自分に関係ある」と認識せず、目に入っても認知されない・興味を持たれない、というケースも往々にしてあります。

今回は、患者様の認知・興味を喚起し、メニューの追加購入を促すだけでなく、医院のファンになってもらうための、院内販促の代表的な例をご紹介します。

### 院内販促 どんな方法がある？

#### ポスターを掲示する

一般的な手法ですが、待合室や診察室にポスターを掲示することは、患者様からの認知を高めるために効果的です。繰り返し目に入ること、興味を持ってもらうきっかけになります。ポスターでは医学的な情報などはあまり細かく書かず、主体となるメッセージとビジュアルで伝えることで、まずは興味をもってもらうことを目指しましょう。



#### 詳細資料を用意する

ポスター等で興味を持った患者様が詳細について知れる方法を用意しておきましょう。新しい施術について気になっても、忙しい先生に声をかけづらいという患者様も多くいます。気軽に持ち帰ることができる配布物や、待ち時間などに気軽に手を伸ばせる読み物などを充実させましょう。

- ・ポスターと連動したパンフレットやリーフレット
- ・待ち時間や点滴などの施術中に読める参考書籍や、施術メニュー紹介のファイル
- ・処方箋や明細と一緒に渡せる 医院からの配布物 など

特に3つめの配布物に関しては、「健康の知識」や「院長・スタッフのおすすめ施術」など、患者様にメリットがある情報を提供することで、医院や先生の信頼感が高まり、自院のファン作りにもつながります。

#### 院内動画を流す

近年、待合室にモニターを設置している医院も増えてきました。ぼーっと時間を費やしがちな待合室では、目に留まりやすい動画という販促ツールの相性が抜群。なかなか先生やスタッフが時間を取って施術メニューの説明をするのが難しい場合でも、動画で概要を知ってもらうことでスムーズに施術を促すことが

できます。また、繰り返し見てもらうことで、患者様の印象にも残りやすくなります。

### 告知を継続していくことが認知を高める！

いずれの院内販促も導入することはそれほど難しくありませんので、可能なものから導入してみたいかがでしょうか。大切なのは告知を継続していくことです。繰り返し目に入ること、患者様の認知・興味を高め、選ばれる機会を増やしてくれます。有益な提案をしっかりと到達させることは、医院の信頼度向上にもつながります。「ここに来れば悩みが解決できる」「困ったらこの先生に相談しよう」と感じてもらえれば、今後のリピート率向上にもつながるのです。

制作をゼロから行う時間がない、という先生も多いかと存じます。点滴療法研究会では会員の皆様は院内販促をより手軽に導入いただけるように、以下の販促ツールをご用意しています。医院での導入状況に応じて、ぜひご利用ください。

- 患者様向けリーフレット
- 院内掲示用ポスター
- 院内動画(作成中)
- 【書籍】つらくないがん治療
- 【書籍】点滴でアンチエイジング



点滴療法研究会マスターズクラブ会員限定！ 販促に役立つツールをご用意しています

会員登録後、オンラインショップよりご覧ください。



## 点滴療法研究会 協賛企業のご紹介 (五十音順)

当会の活動にご賛同・協力いただいている  
年間協賛企業（企業会員）の一覧です。



### アークレイ株式会社

【血中ビタミンC相当値を簡単・迅速にチェック可能!】ポケットケムVCは自己血糖測定器と全く同じ手順で簡単に血中のビタミンC相当値を得ることが可能です。まずは、資料請求からお気軽にお問い合わせください。

TEL.050-5527-7700



### 株式会社アイダンプロダクツジャパン

米国リオルダンクリニックの研究室から生まれた革新的サプリメント。柳澤会長とリオルダン博士が設計監修された高濃度ビタミンC点滴のサポートサプリIVC-MAXなどを取扱っております。是非ご活用ください。

TEL.03-6811-1318



### アウトバーン株式会社

HGHクリスタルMDを始めとしたHGHサプリメントシリーズ  
日本初のアミノ酸によるHGHに着目したサプリメントであり、20年の歴史がある商品となっております。臨床試験を実施し安全性と有用性を確認

TEL.078-327-7553



### アンブロシア株式会社

迅速・丁寧・安心をモットーに各種検査サービスをお届けします。(遅延型フードアレルギー/重金属(唾液・尿)/有機酸・環境汚染物質/副腎ストレス/SIBO(呼吸)/ビタミンD/男性・女性ホルモンなど)

TEL.044-299-7947



### Wismettacフーズ株式会社 ナチュメディカ事業グループ

ナチュメディカのサプリメントは、栄養療法フォーローを目的として、安全性・科学的根拠・機能性にこだわった設計です。柳澤先生ご監修の「点滴療法専用サプリメント」をはじめ、様々な局面でご活用いただけます。

TEL.03-6870-2006



### 株式会社ウェルハート

当社は薬監申請に基づき、海外の医薬品や医療機器の輸入に係る手続きの代行、調達、輸送時の商品管理等のサポートを行います。また、ドイツHumares社のオゾン機器、JBP社のヒトプラセンタ内服薬、の国内代理店業務を行っております。

TEL.03-5276-6071



### 自費研株式会社

自費診療領域にて、独自の切り口と質の高い情報量で自費診療と自費経営のコンテンツやメディア、セミナーやイベントを提供し、自費診療で医療経営を強くすることを目的とした会員型プラットフォームサービスです。

TEL.03-4540-6583



### 株式会社MSS

医科向けシェアNo.1のMSSサプリメントは、「医師の使用に耐える性能と品質」をお約束します。さらに、「栄養療法のトータルサポート企業」として、「栄養医療とサプリメント販売のノウハウ」を、先方にご提供いたします。

TEL.03-5366-0208



### 有限会社クレア・ラボ・ジャパン

Klaire Labs社は米国で50年間以上、医療機関へアレルギー・フリーのプロバイオティクス・サプリメントを提供し続けています。米国同様、日本でも15年にわたり医療機関へ提供させて頂いております。

TEL.045-534-9518



### 株式会社玄米酵素

【玄米酵素】1971年創業  
「玄米酵素」玄米、胚芽表皮を麹菌で発酵した自然派サプリ/学術論文が30本以上/140以上の医療機関がご利用/ビタミン11種、ミネラル10種、食物繊維、抗酸化成分も豊富

TEL.050-5527-7700



### 株式会社こころ

欧米で盛んに研究され、その驚くべき効果がつぎつぎと発表されている麻由来のポリフェノール、CBD。いま、健康をサポートする栄養補助食品として医師や科学者の間で注目を集めています。詳細はお問合せ下さい。

TEL.048-291-8802



### 株式会社サルベストールジャパン

ニュージーランドのサルバケア社より認定を受け、日本におけるサルベストールの販売提供を行っております。がん治療を目的とした医療機関向けサプリメントSalvestrol PLATINUM2000(点滴療法研究会推奨サプリメント)です。

TEL.03-6450-2406



### 株式会社スピック

日本製の高品質ナリポソーム化されたビタミンCサプリメント。全国1,500以上の美容と健康のプロの事業所で導入されています。高濃度ビタミンC点滴を導入のクリニックでのお取り扱いが中心です。

TEL.0120-663-337



### 第一産業株式会社

九州大学・昭和大学歯学部・日本歯科大学との共同研究を基に、様々な口腔内病変の改善を目的とした、フコイダン・白なた豆エキスを含有した口腔内専用の製品

パワーフコイダン マウスジェル CG  
TEL.06-6131-0370



### 株式会社デトックス

(株)デトックスは2005年から医療関係者のために、一流レベルの機能性医療検査と高品質の治療製剤とサプリメントを提供しています。検査はがん、自閉症、精神疾患、認知症、免疫関連と幅広くカバーしております。

TEL.03-5876-4511



### ニプトジャパン株式会社

新型出生前診断(NIPT)検査の提供。  
陽性者には無料で遺伝専門医によるカウンセリングを実施。  
現在、採血協力機関募集中。  
謝礼：25,000円/件

TEL.03-6262-7771



### 日本ダグラスラボラトリーズ株式会社

DOUGLAS LABORATORIESは、医師の手から患者様へ医師が責任を持って処方する信頼のブランドです。  
1本からの卸、小ロットOEM、オリジナル商品製造、分包装等、多彩なサービスを取り揃えています。

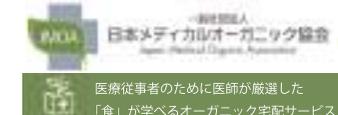
TEL.03-5530-2212



### 一般社団法人日本オーソモレキュラー医学会

日本における代替療法の分野でも広く知られるようになったオーソモレキュラー医学とは、ビタミンやミネラル等の栄養素を正しく取り入れ、病気の予防や治療を行う治療レベルの栄養療法です。詳細はお問合せ下さい。

TEL.03-6821-1461



### 一般社団法人日本メディカルオーガニック協会

毎月テーマに沿った「食・栄養に関する医学情報誌」と厳選した「オーガニック食品セット」をお届け。医師監修の元、医学的根拠に基づいた食と健康に関する知識を身につけることと共に、オーガニックな食材を体感することができます。

TEL.03-6277-3011



### 株式会社ニュートリション・アクト

遺伝子レベルに着目した、医療機関専売サプリ【メロングリソディン プロ】細胞内の抗酸化酵素を誘導し活性化することで、本来の生命力を高め究極のアンチエイジングへ。その他DNA修復サプリ・ミトコンドリアサプリも。

TEL.03-3538-5811



### 株式会社ビーアンドエス・コーポレーション

約2,300の医療機関で導入される乳酸菌生成エキス『アルベックス』、認知症対策サプリ『プラズマローゲン』を扱っております。ご興味のある方は弊社公式ホームページ、又は下記TEL番号よりご資料請求ください。

TEL.03-3288-0068



### 株式会社First Health Japan

最高水準の医療・技術を必要とする医師と世界の医療機関・情報を繋ぎサポートいたします。USBioTek社/NutriPATH日本総代理店、海外調剤薬局配合剤、G6PD迅速定量検査、ビタミンD迅速検査等詳細はお問い合わせください。

TEL.03-5799-7085



### 共同購入VC受注代行センター (有限会社ディスプレイインターナショナル)

厚生局の指導に従い、法令遵守して医師による個人輸入をサポートいたします。Mylan社製ビタミンC製剤・Woerweg社製αリポ酸の受注窓口として、受注業務を代行しております。ご不明な点があれば気軽にお問い合わせください。

TEL.03-6300-0152



### 株式会社分子生理化学研究所

当社は2002年に設立した医療機関向けサプリメントメーカーです。医師が選ぶサプリNo.1を獲得し、全国約5,000の医療機関導入をした実績から、栄養療法を実践する皆さまのサポートをさせていただきます。

TEL.03-5286-7010



### 株式会社薬事法ドットコム

ドクターのためのオンラインサロン・メディカルビジネスサロン(月会費11,000円)では、医師・歯科医師の悩みを解決しながら、企業等とのマッチングを通して医師・歯科医師の個人年収1億円以上の達成を目指します。

TEL.03-6274-8781